

令和6年度特別展観 溪斎英泉・歌川広重

木曾海道六拾九次之内

2024年8月29日（木）～9月29日（日）



溪斎英泉（1791-1848）と歌川広重（1797-1858）、二人の浮世絵師が木曾街道（中山道の異称）の自然豊かな風景や道中の人々を描いたシリーズ「木曾海道六拾九次之内」（天保6～9年（1835-38）頃）を、起点・日本橋から大津宿までそろいで出陳する年に一度の展覧会です。秋里籬島による名所地誌『木曾路名所図会』（文化2年（1805）刊）を読み解きながら、浮世絵を通じた中山道の旅へご案内いたします。

さらに、「ふるさとえな応援寄付金」を賜り令和5年度に新規収蔵した、広重晩年の名作「木曾路之山川」（安政4年（1857）8月）を初公開いたします。

【展覧会概要】

展覧会名 | 溪斎英泉・歌川広重 木曾海道六拾九次之内

会期 | 2024年8月29日（木）～9月29日（日）

休館日 | 毎週月曜日（ただし9月16日、23日は除く）、9月17日、24日（ともに火曜日）

開館時間 | 午前9時30分から午後5時（入館は午後4時30分まで）

観覧料金 | 一般820円（20名以上の団体は660円）

※18歳以下無料

※障がい者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は無料

※毎週水曜日はフリーウェンズデー、毎週金曜日はフリーライダー（共に終日観覧無料）

※毎月第1日曜日は「市民の日」で恵那市民に限り観覧無料

会場 | 中山道広重美術館 展示室1、2（〒509-7201 岐阜県恵那市大井町176-1）

主催 | 恵那市、恵那市教育委員会、（公財）中山道広重美術館

【関連イベント】

◆担当学芸員による作品ガイド

日時 | 9月1日（日）午前10時30分から（40分程度）

場所 | 展示室1、2

◆美術館ボランティア幽遊会による概要説明

日時 | 随時（要事前予約）

【本展の見どころ】

中山道を描いた浮世絵「木曾海道六拾九次之内」をそろいで公開

天保6～9年（1835-38）頃に出版された「木曾海道六拾九次之内」は、起点・日本橋と中山道69宿の各地を取り上げた風景画シリーズです。溪斎英泉が24図、歌川広重が47図（「中津川」の異版を含む）を手掛けており、結果的に合作となっています。本展では、「雨の中津川」を含む71図をそろいでご覧いただけます。

江戸時代の中山道案内書『木曾路名所図会』を紹介

文化2年（1805）刊行の『木曾路名所図会』（全6巻7冊）は、京都の読本作者・秋里籬島が中山道の名所旧跡や神社仏閣、名産などを書き著した、挿絵入りの名所地誌です。京都の浮世絵師・西村中和と共に約3年かけて中山道を旅し、実地調査を行ったとされます。英泉と広重も「木曾海道六拾九次之内」の作画にあたり、本書の記述や挿絵を参照した可能性が指摘されています。

令和5年度新規収蔵品「木曾路之山川」を初公開

恵那市が実施する「ふるさとえな応援寄付金（ふるさと納税）」の応援プロジェクト「中山道広重美術館の浮世絵版画作品の拡充」（募集期間：令和3～4年度4月）へお寄せいただいた資金を活用し、令和5年度に歌川広重「木曾路之山川」を新規収蔵いたしました。大判3枚続の大画面に、馬籠峠から妻籠宿にかけての木曾の雪山が量感豊かに表現されています。広重の晩年を代表する傑作を、本展にて初公開いたします。

左上：歌川広重「木曾海道六拾九次之内 妻籠」中山道広重美術館蔵（田中コレクション）

右上：溪斎英泉「木曾街道 馬籠駅 峠ヨリ遠望之図」中山道広重美術館蔵（田中コレクション）

下：歌川広重「木曾路之山川」中山道広重美術館蔵（令和5年度新規収蔵品）



【お問い合わせ】

中山道広重美術館 担当：常包美穂（学芸係）

TEL/FAX 0573-20-0522/0573-25-0322

E-mail staff@hiroshige-ena.jp（学芸共通）